

授業科目名	国際学IIIチュートリアル
科目番号	BA92032
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋学期応談
担当教員	関根 久雄, 井出 里咲子, 柴田 政子, 松島 みどり, 寺内 大左
授業概要	国際学III（文化・社会開発分野）の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。
備考	今年度の「国際学」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。総合学域群生の履修を優先するが、定員に満たない場合は、社会・国際学群 他学群の優先順位で、他学群生の履修も認める。履修希望者が定員を上回った場合は選抜をおこなう。定員、履修条件、選抜方法、開講日等の詳細はシラバスを参照のこと。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	1. 汎用コンピテンス:コミュニケーション能力、批判的・創造的思考力、広い視野と国際性に関連する。 2. 専門コンピテンス:国際学（国際開発）の理解、国際学（国際開発）についての分析能力、国際学（国際開発）についての論理的表現能力に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	1. 相対的視点から西洋的諸概念・諸制度の理解を深めることができる。 2. 文化の視点からグローバリゼーションに関わる諸現象を分析することができる。 3. 「人間の経済」の多様性について理解を深め、その今日的意義を説明できる。 4. 歴史的（植民地主義的、新植民地主義的）文脈から異文化間の関係性を説明できる。 5. 進級後の自らの研究テーマを設定し、それに合致したアカデミックキャリアを構想できる。
授業計画	1) 実施日：10月1日（金） 担当教員：松島みどり 内容：オリエンテーションを行う。 2) 実施日：10月8日（金） 担当教員：関根久雄 内容：異文化世界への導入として、文化相対主義についてチュートリアルとディスカッションを行う。 3) 実施日：10月15日（金） 担当教員：関根久雄 内容：グローバリゼーションと「文化の衝突」についてクリティカルに考え議論する。 4) 実施日：10月22日（金） 担当教員：井出里咲子 内容：言語相対主義とその概念がその後の文化理解に及ぼした影響についてチュートリアルとディスカッションを行う。 5) 実施日：10月29日（金） 担当教員：井出里咲子 内容：公共のことばの機能とその価値を巡るいくつかの設問についてチュートリアルとディスカッションを行う。 6) 実施日：11月12日（金）

<p>授業計画</p>	<p>担当教員：柴田政子          内容：近代ヨーロッパを起点とする国民教育制度の、政治的・経済的・社会的・文化的機能について考える。</p> <p>7) 実施日：11月19日（金）          担当教員：柴田政子          内容：第二次世界大戦後の「万人のための教育」「基本的人権としての教育」運動の、現代グローバル社会にみる成果と課題について考える。</p> <p>8) 実施日：12月3日（金）          担当教員：寺内大左          内容：環境問題について人類学・社会学の視点から議論する。</p> <p>9) 実施日：12月10日（金）          担当教員：寺内大左          内容：・国際協力に携わる実務家の方に講演していただく（詳細TBA）。</p> <p>10) 実施日：12月17日（金）          担当教員：松島みどり          内容：「人間の経済」についての理解を深め、それをもとに経済のグローバル化が人々の生活へ与える影響を議論する。</p> <p>11) 実施日：12月24日（金）          担当教員：松島みどり          内容：「経済開発は人々の生活を豊かにするか？」をトピックとしてリサーチとディスカッションを行う。</p>
<p>履修条件</p>	<p>「国際学III」を履修中の学生に限る。学期中に行われるゲストスピーカーによる講演会、年度末に行われる最終発表会等への参加を推奨する。          定員は20名程度を上限とする。履修希望者は、9月27日（月）までに、Twinsで履修登録を行うこと。履修希望者が多い場合には、総合学域群生、国際総合学類生、社会学類生の順で優先し、定員に達しない場合は他学群生の履修も認める。履修希望者が定員を上回る場合は、くじ引きによる選抜を行う。選抜結果については、9月29日（火）までに通知する。</p>
<p>成績評価方法</p>	<p>授業の参加度（50点）、研究発表用ポスター（50点）の計100点満点で評価する。研究発表会用ポスターは、3月に行われる最終発表会で展示する。ポスター作成の詳細については第11回の授業でアナウンスする。</p>
<p>学修時間の割り当て及び授業外における学修方法</p>	<p>演習 15時間          授業開講期間中に行われる講演会、年度末に行われる最終発表会等に積極的に参加すること。授業での発表準備、研究発表会用ポスターの作成等を行うこと。</p>
<p>教材・参考文献・配付資料等</p>	<p>各回の担当教員が授業中に個別に指示する。</p>
<p>オフィスアワー等（連絡先含む）</p>	<p>メールでアポイントメントを取ってください。          松島 みどり matsushima.midori.gb at u.tsukuba.ac.jp</p>

<p>その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）</p>	<p>文化・社会開発分野に関するさまざまな学問的アプローチに対する知的好奇心をもって受講してください。</p> <p>総合学域群生にとって本科目を履修していることが進路決定において優遇される、という制度上の措置はありません。</p> <p>本科目の履修の有無が当該専門導入科目（国際学III）の成績に有利に働くことはありません。</p>
<p>他の授業科目との関連</p>	<p>BC50131 国際学III</p>
<p>ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）</p>	<p>学類3・4年次生によるSA（スチューデント・アシスタント）を配置する予定。</p>
<p>キーワード</p>	<p>文化、社会開発、国際開発学</p>